

より良い有田市をめざして ～有田川とともに～

連日蒸し暑さが続き、梅雨明けが待ち遠しい昨今です。今から64年前の7月18日に未曾有の有田川大水害が発生しました。人身の被害や失った家屋などの財産は甚大で、先人の方々は、復旧にひたすら努めてくれました。

私たちは過去の教訓を胸に、今後も河川堤防強化などの取り組みを着実に進めていく必要があります。また、近年雑木などが目立ちはじめた河川内における自然環境の景観保全や兩岸を走る国道沿いの歩道整備など安全対策も必要です。

二級河川に位置づけられる有田川と兩岸の国道は、いずれも国や県の管理下にあり、これまでも色々な場面で要望を行ってきました。毎年、和歌山県市長会でも本市の重要な課題について知事と協議する場を設けています。本年は、有田川の河川整備について要望をしまります。

その一方で、県行政に対し、要望するだけでなく、地域に住む私たちが主体となり、川を美しく守っていくという思いを強く持ち、国や県そして市民の皆様とともに、私たちの有田川を大切にしていかなければなりません。

文豪・有吉佐和子の小説「有田川」は、川とともに生きる人々の強い覚悟が描かれた作品で愛読書の一つです。私は、主人公が強く逞しく生き、試練を乗り越えていく姿に感銘を受けました。今月は河川愛護月間でもあります。川からの豊かな恵みに感謝しつつ、これからも私たちの有田川を未来に向け、大切に守り育てていきたいと思ひます。

有田市長 望月 良男



第38回 紀文まつり

花火 午後8時20分～
(有田川河川敷)

主催
紀文まつり実行委員会

問 産業振興課
(内線275)

8月11日(金・祝)
開催! 予備日12日(土)



広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

より良い広報づくりのため、皆様のご意見ご要望を秘書広報課へお寄せください。



この広報紙は地球環境保護のために、再生紙と植物油インキを使用しています。